

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 21日

事業所名 LEIF西宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0	職員の増員	2023年4月より1名職員を増やすことで各業務、支援の質を向上させていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	前施設内容の利用	全施設が重心だったため、適切な配慮がなされているが今後の通所者を踏まえてより使用方法を職員で理解していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	職員での共有時間の確保	管理者だけでの把握の場を極力無くし、風通りが良く、より細部まで指導員全員で共有する時間やMTGを行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	TELフォローの徹底	保護者様のご意見を大切に日々の改善を継続していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		今回が初の実施期間になります
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	西児連への参画	社外からの研修等をより充実させていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	研修の数が多	全員参加での実施を心がけている、引き続き学びを継続していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	保護者との連絡を密にしている	保護者と連絡を取り、自発管を中心に支援を計画して質を高めていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	体力測定を行っている	今後も子供の成長への機会、環境を創出し活動する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	サッカー以外の体験活動の立案と実施	継続して質を高めていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	運動面だけではなく子ども目線での楽しみや活動を行っている	今後も様々な活動で子供の楽しさを広げて支援する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		スケジュール変化に対する課題が不透明なので明確化していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	個別支援と集団支援をお子様に合わせて行っている	計画に沿って支援を行うがクリアしてきた次の課題や成長ポイントを共有し支援に繋げて成長をより促せる環境を構築する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼で毎日実施	確実にいき、質を高めるディスカッションを行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	就業時間の関係で難しい時は翌日の朝に確実にしている	職員の勤怠面を配慮した上で確実にもれなく行っていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日々の療育記録に施設としてこだわっている	リタリコのソフト内での療育記録の内容、質にこだわる
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2		もっと時間をとれるように業務環境を改善していく	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	職員と話し合いバランスの良い活動を行っている	より様々な部分を療育で表現していけるように質を高めていく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	職員で話し合い参加者を選出している	自発管、管理者に関わらずお子様に精通した指導員で行っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	LINEと電話を活用し即対応して安心安全を目指し活動している	連絡漏れが無いように複数で2重、3重のチェックが行える環境を構築していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	医療的ケア児なし	今後を見据えて準備していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	現在西児連に加盟し連携を高めている	各所との関係構築に努める動きを行う
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	卒業生がまだいない	他事業所との連携や情報共有を増やせる動きを行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	子ども未来センターでの児発支援の見学を行った	こちらから相談や意見交換を行って連携を深めていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		オープンして1年経っていないので今後通所する子どもたちを捉えて活動を検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		オープンして1年経っていないので今後通所する子どもたちを捉えて活動を検討していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	帰宅時や電話、LINEを活用して機会を増やしている	より連携をとる時間を確保するために運営業務や勤務状況を見直し共通理解の場を増やす努力が必要
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		今後検討し機会を増やしていく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時の保護者様の拘束時間を考え説明を行っている	より丁寧な対応をしていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	少しずつご相談を頂いている。連携を取りながらサポートしている	より増やしていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	現在なし	今後検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	事前説明、即日対応を心がけている	基本はそれが無いように職員で支援に努めていく。何かあった際の共有での漏れや遅れが出ないようにMTGやコミュニケーションを常に行い見直していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	SNSでの発信	より細かく発信していけるよう検討
	35	個人情報に十分注意している	5	0	会社全体で取り組んでいる	引き続き安全に対応していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	配布物を工夫している	今後より良い物を検討
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	情報は得ているが参加出来ない	今後検討していく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	契約時に案内	新規契約者に対して案内の質を上げる
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	5	契約時に案内	プランはできているが、不足している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	外部内部両側面で研修を実施している	通所者への発信などよりその研修、学びを活かして環境を作る
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	組織的に決定している	今後通所者に対しての説明を行っていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	個々のアレルギー状況を把握し、アレルギー対応を行っている	食事、おやつの際にアレルギーチェックを常に行う事を継続していく(2重のチェック環境)
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日朝礼時に共有し改善している	積み重ねた事例集を再度見直しMTGで改善できるか月1回全員でチェックする時間をとる	